

### 1. 目的

本校独自の課題研究を行う授業「小石川フィロソフィー」の集大成として、昨年度より6年生に学校設定科目「小石川フィロソフィーVI」(1単位)を設置した。

「小石川フィロソフィーVI」では、「小石川フィロソフィーV」までに各自が取り組んだ課題研究をまとめ、学校内外に発信する活動を行った。これらの活動を通して、生徒の「課題発見力」「継続的実践力」「創造的思考力」の育成を図るとともに、校内で課題研究に取り組む下級生たちへの目標を示すことを目指した。

本年度は、昨年度の反省から、すべての生徒が複数回の発表を経験するように指導計画の改善を行った。



図1 6年間を貫く「小石川フィロソフィー」

### 2. 年間指導計画

授業名: 小石川フィロソフィーVI

単位数: 1単位

対象生徒: 6年生(全生徒)

担当教員: 7名

4月	英語によるポスター発表会 ※一人一人が5年生に発表する
5・6月	研究論文の完成 講座発表会 ※一人一人が講座内で発表する
7月	校内発表会 ※代表生徒が全校に発表する
9~12月	研究要旨の作成 学年内発表会 ※一人一人がクラス全体に発表する
3月	研究概要集の完成

### 3. 中継による校内発表会

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、予定していた全校生徒が一堂に会する校内発表会の実施が難しくなった。本年度は、代表生徒による発表を全校に中継した。

表1 校内発表会で発表を行った代表研究

1	フェイクニュース拡散の数理モデル化
2	新聞の現状と今後について
3	「ヒトラー」再登場を現行ドイツ法は防げるのか ~映画「帰ってきたヒトラー」から考察する
4	倍音の違いを分析する
5	男女間における声質の違いの探究
6	油絵画の変色とその改良法についての考察
7	プラナリアのオペラント条件付けによる記憶形成
8	放散虫化石による地層年代の特定
9	東京2020オリンピック~コロナ禍による経済への影響~
10	カンコードの分析及びそれをういた作曲、ケルト風の編曲
11	Basic Income & Japanese society

### 4. 研究概要集

1人1テーマで行った課題研究について論文の完成に続いてA4用紙1枚の研究要旨を作成した。この研究要旨と研究ポスターなどの資料を、研究概要集として冊子にまとめた。

完成した研究概要集は、研究論文とともに、すべての生徒が閲覧可能なように校内に配置した。このことにより、下級生は、研究概要集からそれぞれの興味ある研究を見つけ、研究論文にアクセスできるようになった。

### 5. 成果と課題

本年度の6年生は、5年生行った課題研究を6年生でも継続して深めることができた最初の生徒となった。アンケートでは、6年生で課題研究に取り組んだことが、卒業後の進路を選択する上でのきっかけとなったという意見が多く寄せられた。